

CCMシリーズ 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

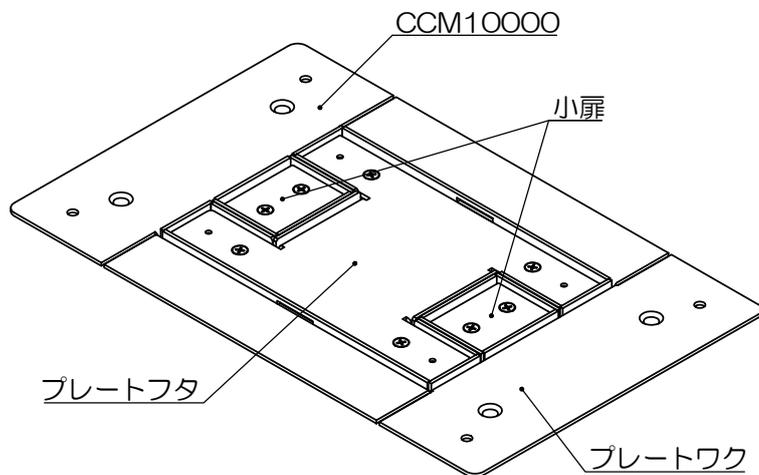
※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。 ◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。 ◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。 ◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。 ◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。 ◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。 ◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。 ◆床に堅固に取り付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。

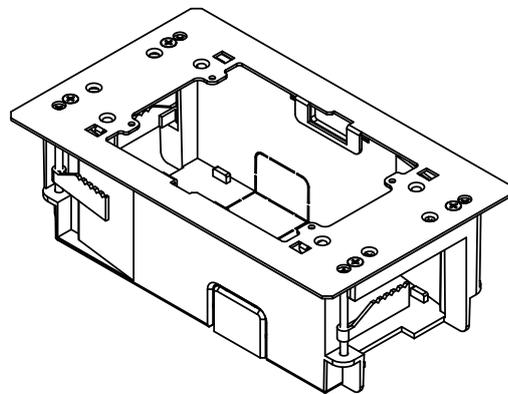
◆部品構成と名称



二重床用適合ボックス(別売品)

品名：ボックス

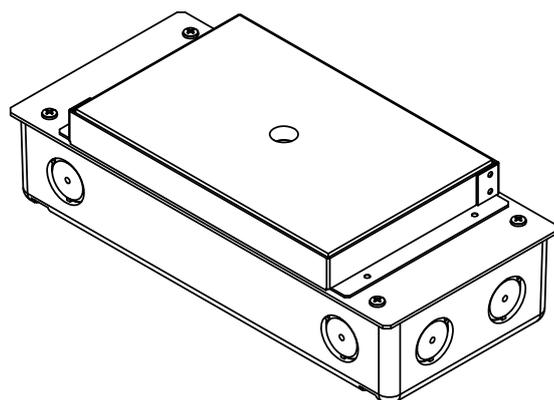
品番：SLL001



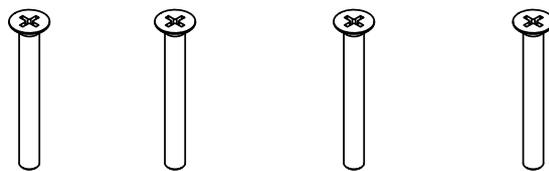
スラブ床用適合ボックス(別売品)

品名：TMKボックス

品番：TMK00000



添付品



M4×35サラネジ ×4本

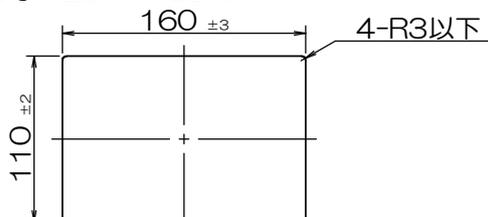
※本製品にボックスは含まれておりません。

施工方法

二重床に施工する場合

1 床材の開口寸法の確認

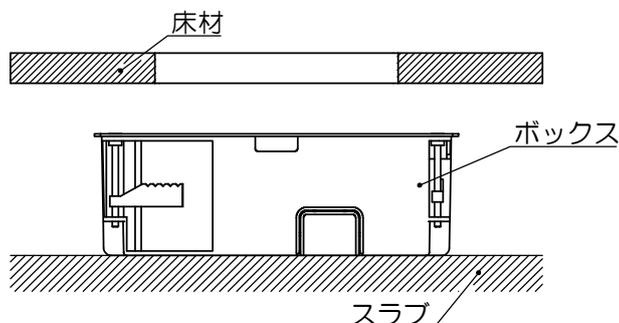
開口寸法：160mm × 110mm
 ※Ⅱ型開口寸法(235mm×110mm)にも対応しております。
 床下空間寸法：100mm以上
 施工可能パネル厚：26mm～36mm



※取り付け床材に新規開口を施した場合、強度低下の恐れがありますので、床材メーカーにお問い合わせください。

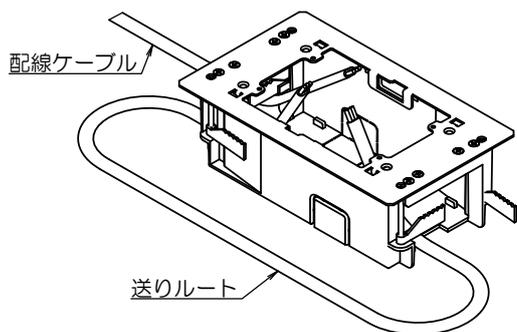
2 ボックスの配置

開口を施した床材の下にボックスを配置してください。



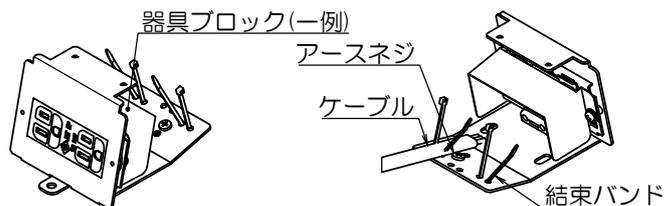
3 ケーブルの引き込み

床下に配置したボックス内にケーブルを引き入れてください。(送り配線もここで形成します。)



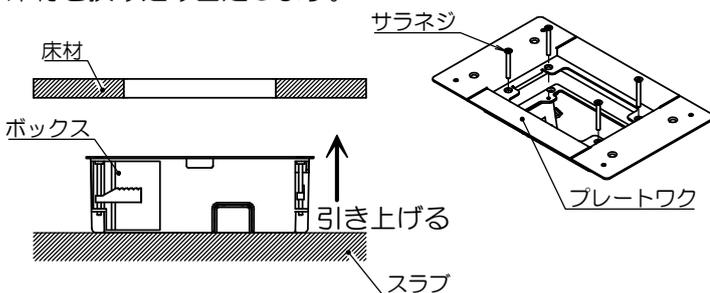
4 ケーブルの配線と器具ブロックの固定

ボックスに引き込まれているケーブルを配線器具に接続します。
 配線方法については各器具の配線方法に従ってください。
 強電系器具ブロックにはアースネジを設けてあります。
 必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。
 ケーブル配線後、ボックスに固定してください。



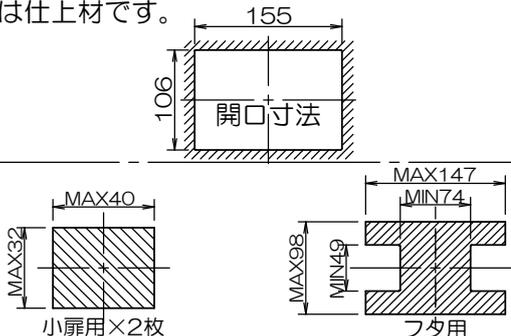
5 プレートワクの固定

床下に配置したボックスを手で引き上げ、添付のサラネジ4本でプレートワクとボックスで床材を挟み込み固定します。



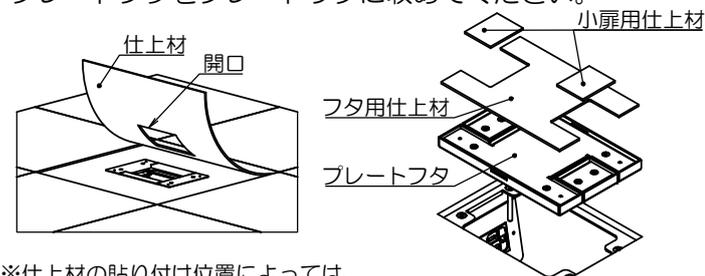
6 仕上材の開口寸法

仕上材を開口する場合は、専用開口治具(CCM00001)を使用するか、下記の寸法でカットしてください。斜線部は仕上材です。



7 仕上材の貼り付けとプレートフタの設置

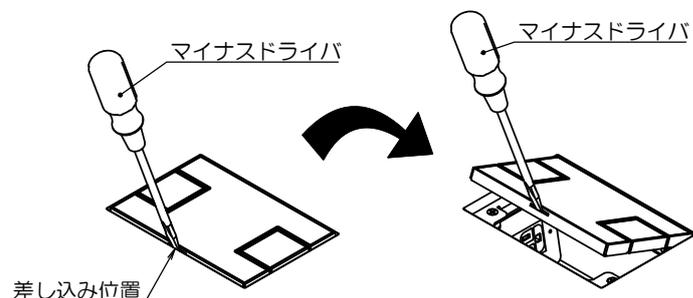
カットした仕上材をプレートフタに貼り付け、プレートフタをプレートワクに収めてください。



※仕上材の貼り付け位置によっては、プレートフタが収まらない場合がありますので、ご注意ください。

8 プレートフタの開け方

フタを開ける場合は、マイナスドライバを下図の位置に差し込み、フタを持ち上げてください。

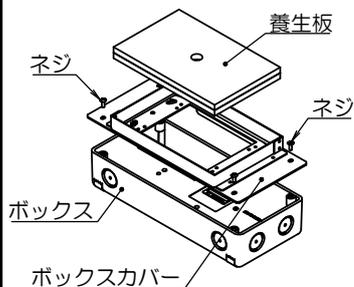


施工方法

スラブ床に施工する場合

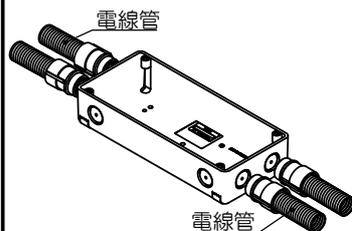
1 ボックスの分解

養生板と四隅のネジを外し、ボックスからボックスカバーを外してください。



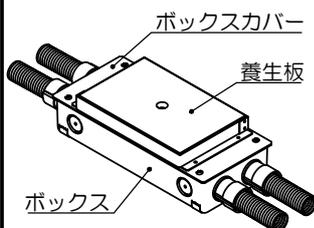
2 電線管の接続

電線管をボックスに接続固定してください。
ノックアウトはすべてφ27.5(呼び22)です。
※ボックスを固定する場合はこの時点でアンカー等で固定してください。



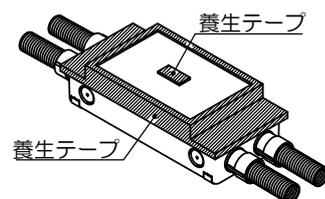
3 ボックスの再組立

外したネジ4本にてボックスカバーをボックスに確実に固定し、養生板を中に入れ、元の状態にしてください。



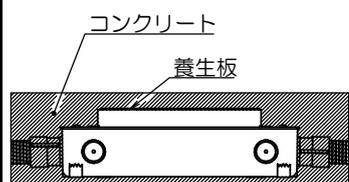
4 ボックスの養生

コンクリート流し込みに備えて、ボックスカバーと養生板上面を養生テープ等で養生してください。



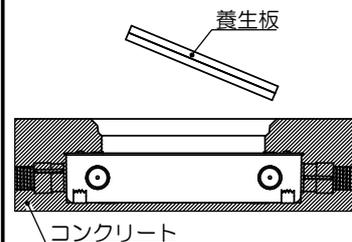
5 コンクリートの流し込み

コンクリートを養生板よりも少し被るまで流し込みます。



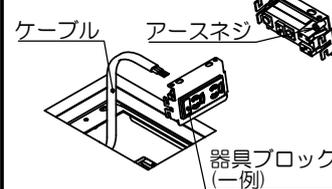
6 養生板取り除き

コンクリート凝固後、ハツリ出し、養生板を取り除きます。



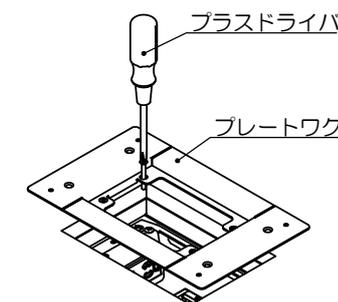
7 器具ブロックの結線

ボックスに引き込まれているケーブルを配線方法に従って配線してください。
強電系器具ブロックにはアースネジを設けてあります。必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。配線後、器具ブロックを添付のネジで固定してください。



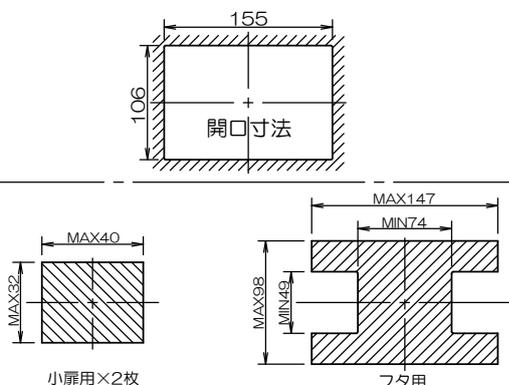
8 プレートワクの固定

プレートワクを添付のサラネジ4本にてボックスカバーに確実に固定してください。



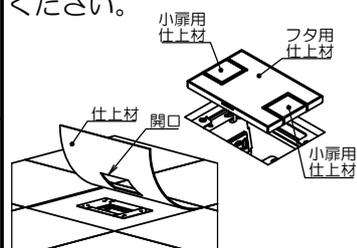
9 仕上材の開口寸法

仕上材を開口する場合は、専用開口治具 (CCM00001) を使用するか、下記の寸法でカットしてください。斜線部は仕上材です。



10 仕上材の貼り付けとプレートフタの設置

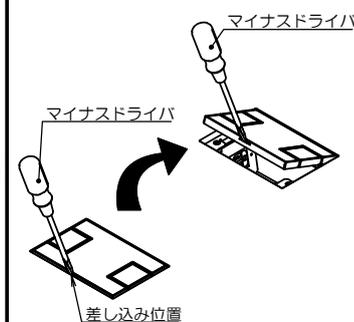
カットした仕上材をプレートフタに貼り付け、プレートフタをプレートワクに収めてください。



※仕上材の貼り付け位置によっては、プレートフタが収まらない場合がありますので、ご注意ください。

11 プレートフタの開け方

フタを開ける場合は、マイナスドライバを下図の位置に差し込み、フタを持ち上げてください。



■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361